

本科 11月27日(木)

第47回講座 山の自然入門

講師 中村 俊彦氏 (県立中央博物館副館長 生物多様性センター副技監)

日時 11月27日(木) 13:00~15:00

場所 千葉県立中央博物館 講堂

テーマは、富士山と房総の山々

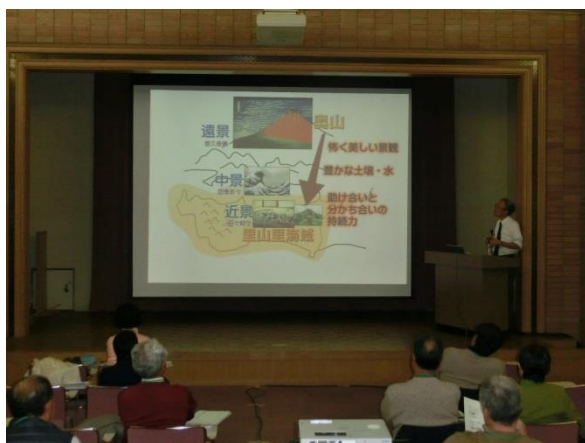
予定変更で急遽講師をお願いした中村俊彦氏による「山の自然入門」の講座では、まず富士山の原生林の構造と成因が紹介され、その植生からみた房総の里山と奥山としての富士山との関連が説明された。そして富士山とその景観が房総の人々の信仰や文化にどのように影響したかについて言及された。世界文化遺産となった富士山と房総との関係は大変興味深いものであり、房総の魅力を再認識する機会となった。そして房総の素晴らしい里山里海の自然や伝統文化を守り、伝えていくことの大切さを痛感する講義であった。



富士山の植生を研究された中村講師による講座は、房総の魅力にもなった富士山の話であった。



世界文化遺産に登録された富士山が遠景に描かれた北斎の絵は房総の景相を描いている。



里山里海を近景とし、遠景に富士山を仰ぎ見る景観は房総の人々の信仰や文化にも影響した。



講座のまとめでは富士山と房総の関わり、そして素晴らしい房総の自然が説かれた。